

③「コミュニティ」の道路と公園

一人の市民として

ドナルド・J・ハイバック

一 はじめに

道路や公園の状況とそれらの前途について論評するように依頼を受けたということは、横浜にも、自分たちの道路、公園、地域社会、住居そして自分たちの都市の状況や外観について関心を抱いている人々がいることを示している。彼らは関心を抱いているだけでなく、改善の方法を見つけようとしており、恐らくは、役所が自分たちのためにやってくれるのを待っているのではなく、進んで何らかの行動を起こそうとしていることをも示している。さて、どうすべきなのだろうか。

アメリカでは、ベテランの職員が常時、市の公園を管理しており、市民も公園で楽しむだけでなく、散らかしたり傷つけたりしないように要求されている。しかし、アメリカのパークウェイ（街路樹や芝を植えた通り）、ここでいうグリーンベルトは、事情がちがう。こちらでは、それは市の所有物だが、アメリカの

家主は、それを自分の家の延長あるいは一部として考えており、自分の家の前庭や中庭と全く同じように手入れをする。そして市の仕事は、グリーンベルトに植えてある樹木の維持・管理に限られている。しかもとくに大きく高い樹木や、空中散布の必要な広範囲の害虫駆除計画や、樹木の周辺の全住民に関係している作業など、通常その住民の能力を超えるた仕事に限られているのである。

二 グリーンベルトの芝の手入れ

もし、自分のグリーンベルトの上に、

芝と似た草があったとしたら、最初の仕事は、それを除草することである。これは単に雑草を切るのではなく、根こそぎ掘り返すことを意味している。そうしないと、すぐにその雑草がのびて芝の中にはびこることになる。これは終わることのない作業だが、時がたつにつれて簡単になる。また、同時に窒素肥料を節約す

ることにもなる。というのは、この重要な成分が、いやな余計な雑草によって消費されずに芝の養分となるからである。除草剤も効果的だが、しかし、枯れ草がその場所に残ってしまう。

最初に雑草が見つけられるように、芝の上の落葉をくまでかき取ることも必要だろう。このことは、落ち葉による芝自身の上の日陰を取り除くことにもなる。芝が茶色になったときの冬の除草も行うべきだろう。というのは、低温でも生き残っている雑草は、まだ緑色をしており、春になって青い芝がいっせいに芽を出して見つけにくくなる前に、簡単に発見できるからである。

芝は、生きた大地のおおいの中で、最も耐性が強い。この耐性は、再生力が旺盛な、地上の茎と、地下の根から生じている。芝を育てている人たちの多くは、芝が踏みつけられずにすめば、簡単に育つことを知っている一方、芝は使用されるために育てられるのだということも理解している。人間や動物の住む密度が高

- 一 はじめに
- 二 グリーンベルトの芝の手入れ
- 三 歩道はコンクリート平板に、グリーンベルトは平らに
- 四 コミュニティの景観と樹木の手入れ
- 五 明るいコミュニティ創造への努力

くなるにつれて、使用上の問題が拡大している。グリーンベルトの上を重いものが通るのを禁止するのは、このように重要なことである。たぐさんの足が踏みつけると、芝はすり切れ、土は固まり、水の包含力は低下して芝は成長せず、回復不可能となる。できあがった芝生をだめにしてしまう芝のすり切れは、芝がもう一度できるまでの間、使用しない期間を必要とする。小さな柵や標識を立てることは、物理的には強い防止方法ではないが、心理的には十分な防止策である。魅力的な動かせる柵や小さな木や灌木でも、芝が生き返る間、踏みつけられないようにすることができよう。しかし、これらの方法と同時に、公衆、つまり学童だけでなく大人に対しても、これらの努力が何を指して行われているのか、芝を守るためになぜ協力が必要なのかについての教育が平行して行われる必要がある。あなたは何回、完備された歩道を通らずに、芝を横切って近道をしただろうか。あるいは成人した大人が近道

をするのを見ただろうか。またあなたの子供たちは、何回、柵を何か壊すのに丁度よいもの、あるいはジャンプの能力を試すものと見なしただろうか。実際、地域社会を美しくするためには、皆が行動し協力しなければならぬ。

芝刈りは、芝のタイプや成長率、芝の高さに対する好みによって、週に一度から月に一度の割合で行われるべきだ。刈り取った芝は、芝刈り機についているグラスキャッチャーで、刈り取り中に取り除かれるか、あるいは芝刈りの後にくまのでかき取られなければならない。重要なのは、それらを取り除くことで、そうしないとくすんだ枯れた光景になるだろう。落葉と同じく、刈り取られた芝は、芝に日光が当たるのをさえぎり、結果的に枯れさせることもあり得る。完璧な芝の保護と同時に、この時点で土の中に有機物を入れることはむしろ遅すぎる。しかしもし、芝に栄養を与えるのが必要なきときには、市販の肥料が便利である。

道路の縁石や歩道のへりにかかっている芝は、あの毛むくじらの犬やヒッピーのような外観にせず小ぎれいな感じにする。樹木や電柱の根元の芝を刈込むことも怠ってはいけない。結局のところ、床屋や理髪師は、はさみとバリカンを使って、あなたの髪を刈る場合最初の及第点に達した後もまだ満足しない。あ

なたの頭髮をきれいな線に整えて、彼の仕事を終えるのである。

三——歩道はコンクリート平板にグリーンベルトは平らに

歩道や側溝にはえている芝や雑草を取除くことは、さっぱりとした清潔さへの努力に向かつての重要な一歩である。コンクリート平板でできている歩道の上には、低くこげがはびこる可能性がある。砂とセメントを交互に混ぜた物を平板の

つぎ目につめれば、芝や雑草が根づかないだろう。このやり方だと、ガス・水道・電気などの公共工事で掘り返す必要があるときでも、平板を動かすことが可能である。このことは、もう一つ考えられるべき点を生起する。

歩道をコンクリート平板にする方法は、アメリカで一般的に用いられているコンクリート舗装よりも、よいポテンシャルがある。しかし、その主要な欠点は、公共の工事を行った会社や請負人が、その部分を掘り返した後で、平板を置き直し、水平にするときに粗雑な仕事をするということだ。これらの会社は、掘り返した部分が固まったのを確かめるまで、掘り返しと埋め込みの作業を定期的に点検し、必要な修正作業を追加して行うような制度をつくるべきである。私

は、自分の家の前の歩道を掘り返した経験があるが、平板を自分で置き直し、水平にすることができなかった。この都市におけるかなり不愉快な光景のひとつは、これらのゆがんだりくぼんだりした歩道である。多分、これを引き起こした会社の修正作業の実施と点検の制度をつくり、広範囲に及ぶこの状態を修正するのは、市役所の責任である。このコンクリート平板をアスファルトの「ジャンダール」に代えるというのでは回答にならない。

グリーンベルトを作る際には、まず、グリーンベルトの土を平らにし、窪みならすことが、私の場合もそうしたが、必要なことであろう。もしそうしないと、芝刈り機がどこかで芝を誤って切るだろうし、その結果、芝が「はげて」見苦しい裸の茶色の点をあちこちに残すことになる。基本的には、この場合、芝生を鋤で部分的に切り取り、それを取り除くことになる。余分な土が取り除かれた後、窪んだ地点を埋め、土を平らにし、新しい芝を同じ厚さに刈り込んで置き換える。少しばかりの土でさげ目をつめる。と、一、二シーズンのうちに元に戻り、目立たなくなるだろう。しかし、この都市の土地開発業者が最初にグリーンベルトを平らにしていたら、事はずっと簡単であっただろう。将来、グリーンベルト

に予定されている場所は、道路や歩道をつくる工事の際には余分な土や残がいの捨て場にすべきではない。それを平らにする時期なのである。また、これは市職員が指導すべきである。

四——コミュニティの景観と樹木の手入れ

犬は、誰もがよく知っているもう一つの問題を提起する。しかし、これもまた教育、しかも犬の教育ではなく飼主の教育の問題である。結局、いくら皆さんの標識がきれいにするのを要求して掲示されていても、犬はそれを読むことができない。つまり飼主が読んで気をつけなければならぬのである。私は、多くのアメリカの都市で、グリーンベルトや歩道、公園などで自分たちのペットが動きまわった後をきれいに片付けない飼主に対して、重い罰金を課しているのに注目している。この制度は、居住者を喜ばせ、しかも歩行者が常に自分の足元に気をとられずに、景色を楽しみながら、頭をあげて歩くことができるようにしたのである。

さらに、犬は樹木や電柱の根元の芝をひっかいてはがすせがある。私はこれらのまわりの地面に、小さな金網の平らな囲いをつくってこれに挑戦した。たい

ていの犬は、この網の上を歩くのを嫌うようだし、それは犬のつける引つきき傷を減らす。場所によっては、この金網はほとんど見えないし、芝を刈るときや、芝生がこの犬の動きに耐えられるぐらい強くなったときには簡単にとりはずすことができる。

街路樹については、通過する自動車の屋根からと、電線から下の空間を十分にとり、形の良い丸いドーム型に刈り込むのを私自身は好んでいる。私は、請負職人の刈り込みに特徴的にみられるような、貧弱な数本の大枝をつけた棒状の外観をさけている。枝を刈り込む技術が学ばなければならない。植木ばさみとのこぎりを、誰か他の人の手元に置いておくことは、じょうずな刈り込み人を作らない。刈り込みの順序、病気や害虫が繁殖する可能性のある枝がすれあってできた傷や、枯れ枝を取り除くこと、樹木の幹や樹冠に必要なエネルギーを奪ってしまふほふく茎を取り去ること、などが重要な手入れである。道具がいつでも磨かれていないならいつでも樹木を刈り込むことができる。という諺があるが、私は落葉樹の刈り込みには、まだ樹木を獲うに足る十分な葉を残している晩夏を選んで、ある種の樹木の樹冠の刈り込みは、害虫の繁殖する初夏に必要なだろう。

非常にみごとな緑の環境を創り出すために、一年中毎日働くことができるとしても、不愉快な汚染によって、それが台無しにされてしまう。どの都市においても、町を目ざわりに行っている最も大きな原因は、利用できるあらゆる電柱や樹木の上にある、考えられるあらゆる種類の広告やポスターである。その乱雑さは、交通標識や消火栓の位置や学区の標識など当然目に止まらなければならないような標識を見えなくしている。このことは、コミュニティにとって危険な状態である。それらは、特に居住地域では不愉快であり、大気汚染や騒音の緩和にそがれているのと同じ程度の努力が、その排除のために必要である。それらの除去はコミュニティの景観を改善するのに大いに役立つ。一方、道路や番地や用地の標識は必要であり、町内会は、宣伝のついでにないさっぱりとした簡素な標識をあてがうのに最も適した立場にある。市民は皆、そのような目的のための地域の基金に喜んで寄付するだろうと思う。

コミュニティの景観をそこねるその他の不愉快な行為は、歩道やグリーンベルトの上を、適当な板のおおいをせずに配達の重い荷物を引っぱること、また、トラックで多量の砂やその他の物をおおいなして運び、そのために溝を詰まらせ

たり道路を汚すこと、カラのコンクリート運搬用のトラックを路上で洗うこと、道路の側に余分なコンクリートを捨てること、コンクリートを路上や歩道で混合し、すぐに完全な清掃を行わないこと、重い機械やトラックが道路や歩道の表面を破損したりすること、などである。このようなできごとは、すぐに関係当局に報告すべきだ。疑いもなく必要なのは現行の規則を強化することである。

公園の管理に話を戻すと、グリーンベルトとはほぼ同じ原則と活動が適用できるのだが、花や灌木の育成等庭作りの作業がもっと強調されることになる。ここでは、生垣や灌木の刈込みが、その外観や状態を良くするために必要である。芝が自由に育つように、芝生から落葉を取り除くこと、芝が育たないような非常に日当たりの悪い場所や有機物質の必要な場所に落葉を集めたままにしておくこと、などが基本的なことである。そうはいっても火事の危険を防止しなければならぬし、また、腐った落葉が樹木や灌木の成長に必要な窒素のかなりの量を土から吸収してしまうということを知っていないければならない。これは窒素肥料を与えることによって補なわれる。燃えた灌木や葉の灰は、石や屑をふるいでよりわけ、それを必要としている公園の土に戻

してやる。樹木のエネルギーを主要部分に行かせるためには、ほふく茎を夏の間につみとらなければならない。小道や砂場やその他の遊び場の雑草や芝や屑を掃除したり、溝や下水管に入った砂利をもとの場所に戻すことなども主要な仕事である。

五——明るいコミュニティ創造

への努力

このように、グリーンベルトや道路や公園の管理の活動は多種多様である。しかし、明るくすばらしいコミュニティと暗く陰気なコミュニティとの間のちがいを作るのには、これらの活動である。幸いなことに、私は美しが丘に住み、自分たちの道路や公園の景観を大切にしている隣人たちに恵まれている。彼らは、自分たちの家や庭や道路や公園を自分たちの町の名前にふさわしくするために、個人的あるいは共同の大きな努力を払ってきた。彼らの努力は、この都市を横濱にふさわしいように美しくするとともにその美しさを維持するという市職員の仕事を、手助けしたいという気持を横濱や他の土地に住む人々に起こさせるだろう。

〈緑区美が丘第四公園愛護会員〉
(翻訳・都市科学研究室 中川久美子)